

# 外光の影響と必要性に関して

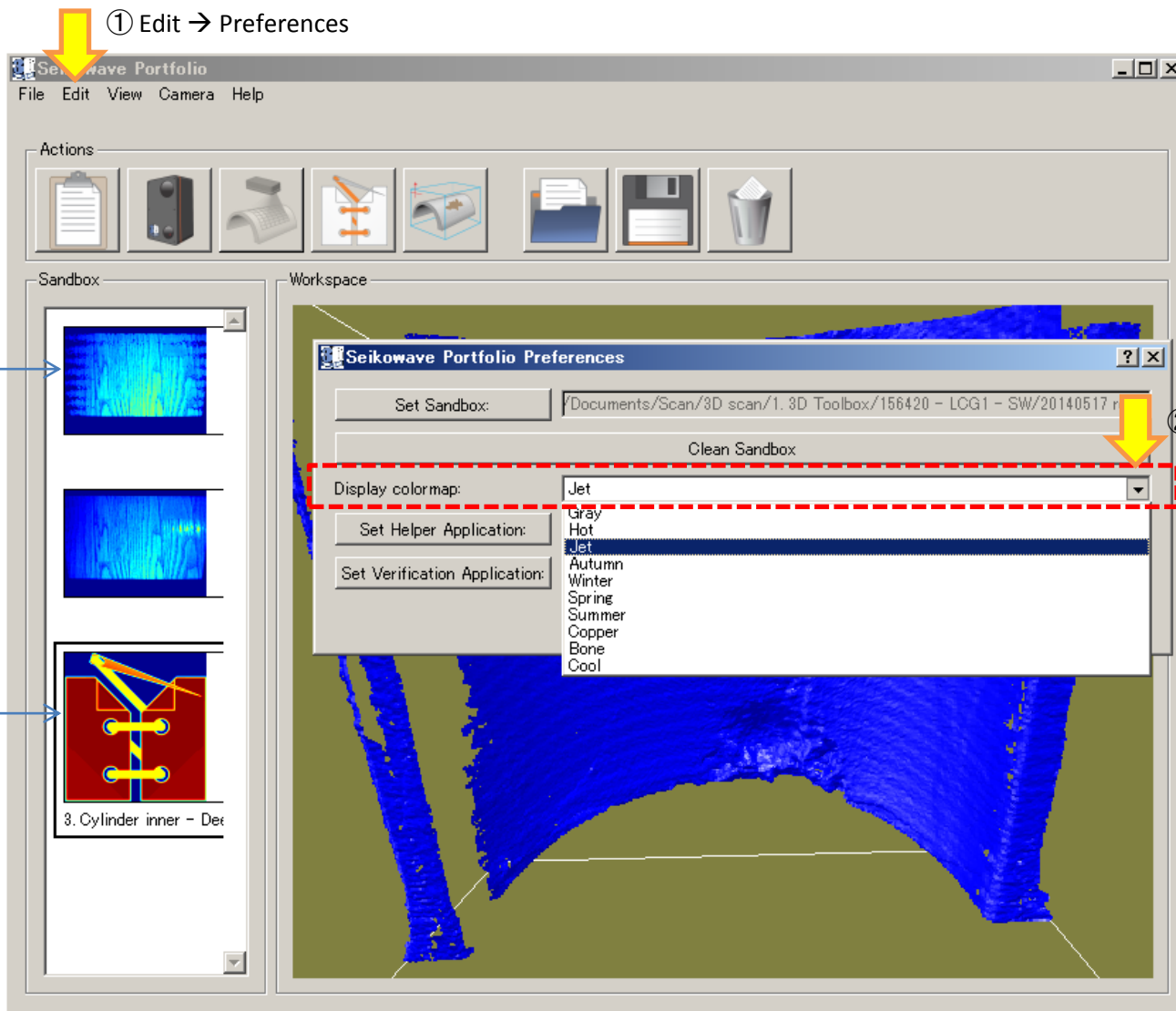
Application Note 5  
(株)セイコーウェーブ

# まとめ

- **コンスタントな外光の必要性和影響について解説します。**
  3. 計測データの光強度(照度)を評価しやすい表示モードに変更
  4. 強度が波状に変化する蛍光灯の影響
  5. 外光が全くない、暗闇での計測
  6. **コンスタントな外光のある場合**
    - Portfolio のフィルタリング機能により、一定輝度以下のピクセルデータは、マルチパスノイズと判断されて、消去されてしまう。
    - 外光がまったくない状態で、反射率の低い対象物(黒っぽい対象物)を計測すると、パターンの輝度が弱い周縁部で、上記フィルタが機能し、データ欠損が発生する。

# Sandbox 表示方法変更

① Edit → Preferences



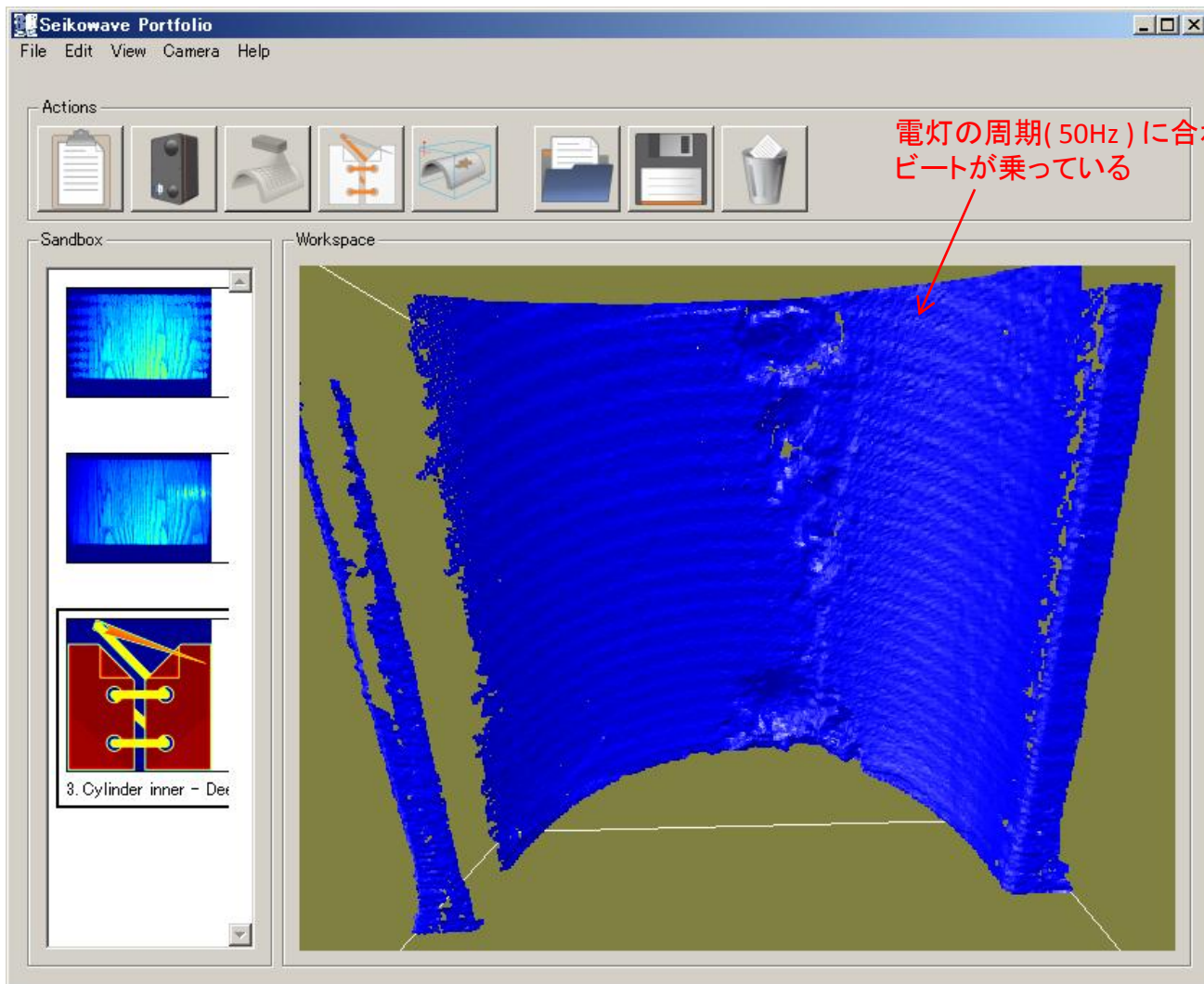
ピクセルの輝度を  
カラーマップで表示

青:弱い  
赤:強い

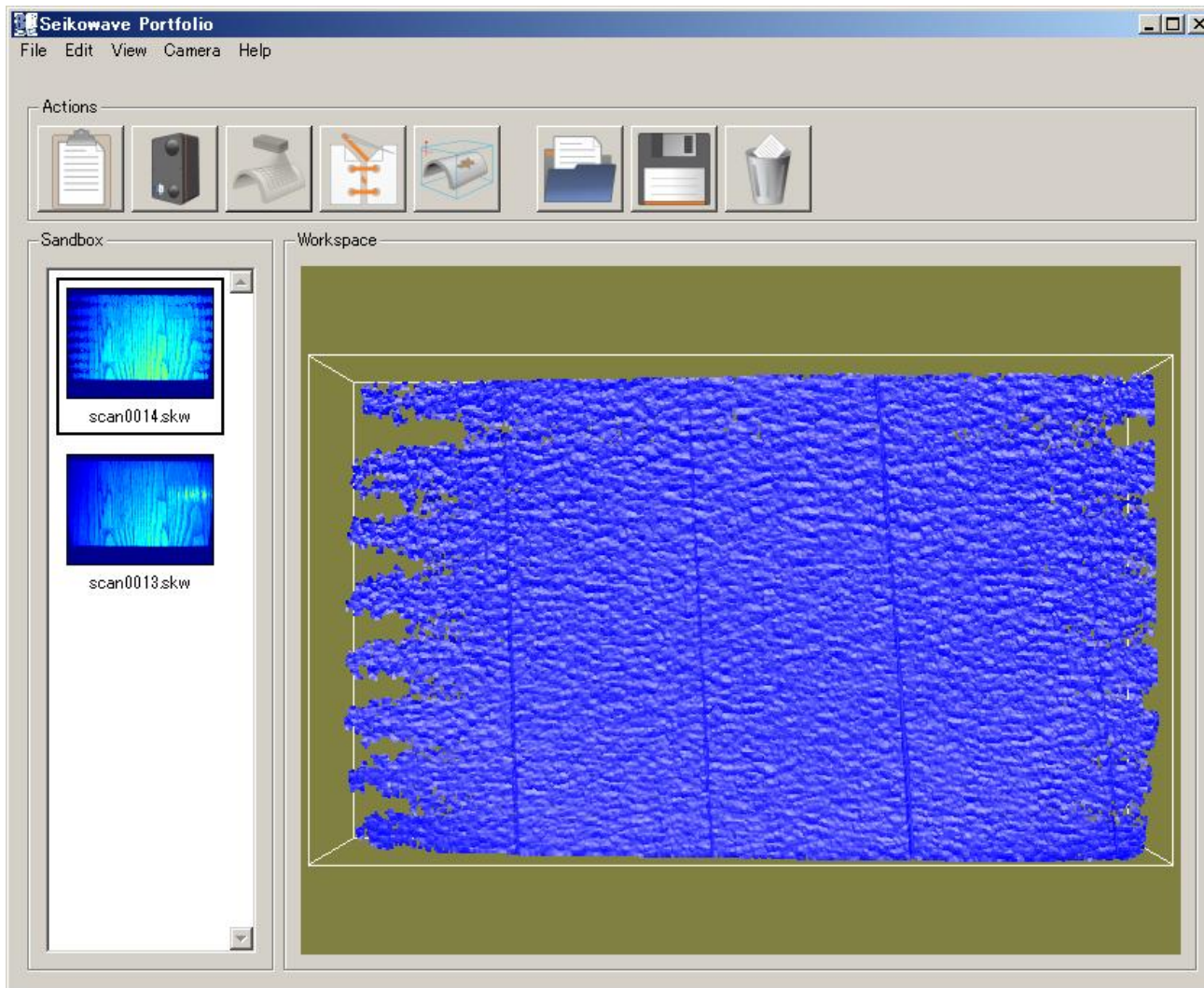
合成結果には適  
用されない

② Jet を選択

# 蛍光灯の影響



# 外光無し(暗室)



LCG-01 利用  
カメラ露光時間 5ms  
対物距離 48cm  
Pattern = Old

# 12ルクス外光あり

白熱電球利用

